

事業コード	H22-建-新-07		区 分	国庫補助	県単独
事業名	地方道路交付金事業費(交通安全)		部局課室名	建設交通部 道路課	
事業種別	歩道設置事業		班 名	道路環境・維持班 (tel) 018-860-2494	
路線名等	主要地方道 大曲大森羽後線		担当課長名	大塚 行雄	
箇所名	横手市雄物川町狼沢		担当者名	加納 義之	
総合計画との関連	政策コード	15	政 策 名	安全・安心なまちづくり	
	施策コード	01	施 策 名	安全・安心な地域づくりの推進	
	指標コード	04	施策目標(指標)名	交通環境の改善	

1. 事業の概要

事業期間	H23 ~ H25 (3年)		総事業費	2.5億円	国庫補助率	7/10	
事業規模	延長 L=1,180.0m 幅員 W=11.0m(1.25+3.00+3.00+1.25+2.50)						
事業の立案に至る背景	<p>主要地方道大曲大森羽後線は、大仙市を起点とし横手市大森町を經由し雄勝郡羽後町に至る幹線道路である。</p> <p>当該区間は、車道幅員が5.5mと狭小であり、大型車交通量が多く歩道も無いため、大型車同士のすれ違いや歩行者(当区間にある集落は、高齢者が多い地区である)の安全等に支障をきたしており、早急な整備が必要なることから新規整備箇所として要望するものである。</p>						
事業目的	<p>通学路における児童の安全確保(安全な生活環境の確保)</p> <p>大型車のすれ違い困難箇所の解消(地域づくり支援)</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度以降
	事業費		250,000	56,000	114,000	80,000	
	経費 内訳	工事費	204,000	46,000	81,000	77,000	
		用補費	46,000	10,000	33,000	3,000	
		その他					
	財源 内訳	国庫補助	175,000	39,200	79,800	56,000	
		県 債	71,100	15,900	32,400	22,800	
その他							
一般財源		3,900	900	1,800	1,200		
事業内容			用地測量 建物調査 用地買収 工事(畦畔等)	用地買収 建物補償 工事L=600m	工事L=580m		
調査経緯	平成21年度 道路詳細設計						
上位計画での位置付け	ふるさと秋田元気創造プランにおける各戦略を支える横断的な取り組みの社会資本整備を推進するものである。						
関連プロジェクト等	<p>県南ブロック計画「個性ゆたかで活気あふれる県南を目指して」を支援する事業</p> <p>横手市総合計画「ふるさとよこてスクラムプラン」を支援する事業</p> <p>横手市西部地区水道事業</p>						
事業を取り巻く情勢の変化	<p>近年、大型車交通量(大型車混入率24%)が増大しており、歩道のない道路状況では大変危険である。</p> <p>沿線集落の住民のうち、高齢者率(矢神46.8%、狼沢38.0%)が高い状況にあり安心安全な道づくりが必要である。</p>						
事業効率把握の手法	指 標 名	歩道整備率					
	指 標 式	実績延長/道路延長					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無		有 無	
	目標値 a	38 %		データ等の出典	道路課調べ		
	達成値 b	38 %					
達成率 b/a	99 %		把握の時期	平成22年 4月			

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	交通安全指定路線(3号基準該当)であり、雄物川北小学校、雄物川中学校の通学路に指定されているほか、当該地区の高齢者数が多いにもかかわらず、車道幅員も狭小(W=5.5m)であるため大型車のすれ違い時に歩行者が危険にさらされている状況にある。	25点
緊 急 性	当該区間の死傷事故率が63件/億台キロ(県内平均41件/億台キロ)と発生率が高い。	25点
有 効 性	通学路の危険箇所が解消され、安全性が向上する。	15点
効 率 性	既設道路の拡幅がほとんどであり、新たな構造物整備の必要がないようにコスト縮減を図っている。	10点
熟 度	横手市および地元住民から、歩道設置要望が出されている。	15点
判 定	ランク ()	90点
	ランク であり、早急に事業を実施すべきと考える。	
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留 評定結果から、事業実施箇所として優先度が高く事業を実施すべきである。	

3. 総合政策課長の2次評価

総 合 評 価	選 定 改善して選定 保留
	当該区間は、小学校及び中学校の通学路に指定されているが、幅員狭小かつ歩道未設置のため、歩行者の安全確保に支障をきたしている。本路線は交通安全指定路線でもあり、歩行者の安全確保の観点から、本事業の必要性、緊急性はともに高く、事業の実施は妥当と判断される。

4. 財政課長意見

意 見 内 容	選 定 改善して選定 保留
	当該区間は、通学路に指定されているが、狭小で、歩道がなく、大型車両混入率も高いなど危険な状況にある。現在、統合中学校の開校(平成24年予定)に合わせ、周辺の歩道を整備しているところであり、歩道の連続性の観点からも、優先度は高い。既設道路の拡幅であり、建物補償も少なくなるよう計画しており、妥当である。

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総 合 評 価	選 定 改善して選定 保留
	事業の実施は妥当である。

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

事業箇所を国に新規要望する。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。

評価種別 新規箇所評価
 適用基準名 交通安全事業（歩道）

事業コード (H22-建-新-07)
 箇所名 (横手市雄物川町狼沢)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	1 2 時間自動車交通量	4,000台/日以上	10	5		
		1,000台/日以上	5			
		1,000台/日未満	0			
	歩行者交通量	100人/日以上	10	10		通学路以外の場合
		100人/日未満	5			通学路の場合
		学童・園児 40人/日以上 学童・園児 40人/日未満	10 5			
	歩道の連続性	計画区間前後に歩道あり	10	5		
		計画区間前後の一方に歩道あり	5			
		計画区間前後に歩道なし	0			
	道路線形の修正 (視距の確保等)	有り	5	5		
無し		0				
計			35	25		
緊急性	関連事業の有無	有り	5	5		
		無し	0			
	事故状況 死傷事故 事故件数	歩行者の死傷事故あり 歩行者の死傷事故なし	10 0	10		
		6件以上 1~5件 なし	10 5 0			
	計			25		25
有効性	交通安全指定道路	有り	5	5		
		無し	0			
	通学路指定	有り	5	5		
		無し	0			
	公共施設	有り	5	5		
計			15	15		
効率性	供用開始までの期日	5年以内に供用開始が可能であり、効果の出現が早い	10	10		
		供用開始まで6年から7年の時間を要する	5			
		供用開始まで8年以上と相当時間を要する	0			
計			10	10		
熟度	地元の協力体制	事業に協力的	10	10		
		用地反対等の問題あり	0			
	市町村の参画	要望書提出済み	5	5		
		要望書は未提出	0			
計			15	15		
合計			100	90		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		